

## 採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 半導体・バイオ融合集積化技術の構築

代表者名： 牟田泰三

所属機関名： 広島大学

### コメント

本提案は、ナノデバイス技術と分子生命科学の融合領域として、概ね 10 年～15 年後にイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。

尚、委員から、以下の様な懸念も出されているので、考慮してプロジェクトを進めて頂きたい。

- ・メモリの大容量化だけが出口にならないようにする必要がある。バイオ側のテーマが弱い。特に、協働企業が無いことが問題である。プレゼンの説明にあった通り、早期にバイオ関連のパートナーを入れて欲しい。また、半導体におけるシリコンの重要性は論を待たないが、バイオセンサーとして考えた場合には他の方法論と比較しての優位性を明らかにすべきであろう。